

令和5年度 筑北村立筑北小学校 学校関係者評価

成果目標・評価の観点	①②③：児童アンケートより	1・2・3：保護者アンケートより	(1)(2)(3)：教員アンケートより
自己評価	1段：自己評価 2段：児童アンケート または 保護者アンケート または 教員アンケート 3段：地域アンケート結果(学校運営協議会)		
自己評価	数値目標(80%または70%)に対して 100%以上→A 90%以上100%未満→B 80%以上90%未満→C 80%未満→D		
学校関係者評価	4:よくできている 3:できている 2:あまりできていない 1:できていない		

項	評価項目	成果目標・評価の観点	自己評価	自校の改善方策・備考	学校関係者委員会の意見	学校関係者評価	
願 い に 向 か っ て 自 ら 学 び 続 け る 児 童	学校は、学校目標や教育方針、学校での様子などを分かりやすく伝えている。	筑北小学校HPが、週に1回以上更新されている。	A	ほぼ毎日、HPの更新を行っており、学校での授業や生活の様子を伝えることができた。また学校便りや学級便りなどでも様子を知らせるとともに、予定なども伝えることができた。今後も継続する。	・今年度は学校のHPの更新もこまめに分かり易くしていると思います。子どもたちの声も活気ある声が学校内に聞こえることはとても良いと思います。先生方の努力があるからと感じました。 ・学校便りや、行事、授業参観等から全先生方が一体となって、熱心に、丁寧に学校運営、教育活動を進めておられ感謝しております。	4	
			-				
			-				
			-				
	学校は、子どもたちの読書活動が広がる支援ができている。	児②：読書を昨年度より進んでいると答える児童の割合を70%以上に する。	保9：学校や学級の教育活動に関する情報提供(お便り等)は役に立っていると答える保護者を80%以上に する。	A	週に一度の読書デーを取り入れてきた。また、お話ボランティアに加え、月に一度の先生方の読み聞かせを行い、児童会と連携しながら、全校が読書に親しめる環境作りを行ってきた。 現在の子どもたちを取り巻くメディア環境を考えるとこれ以上の読書量増加は難しいかもしれないが、今後も読書や、本に親しむ時間は確保していきたい。	・学校で読書活動の支援をしていますが、自宅での読書をする姿勢になかなかつながらない。(ゲーム、YouTubeの時間が多い。) ・新聞記事の読み聞かせなども行って欲しい。 ・読書をする目的を考えて、子どもたちに伝えていって欲しい。 ・歴史を覚えるために、歴史漫画を読むなど、幅広く図書館活用して欲しい。 ・タブレットで電子書籍などの活用はどうか。 ・本をたくさん読むことで、長文問題の読み込みなどにプラスになっていくので、たくさん本を読んで欲しい。	3
				97			
				100			
				-			
	学校はICTの活用や学び合いで、学び手が主役の授業展開を行っている。	教(3)：ICTの活用や学び合いで、学び手が主役の授業展開を行ったと答える教員の割合を70%以上に する。	教(4)：ICTを活用した授業を週1回以上行っている教員の割合を70%以上 にする。	B	ICT機器(タブレット、デジタル教科書、プロジェクター)を活用し、子どもたちに分かり易く効果的な授業ができた。	・宿題でのタブレットの課題などよくやっていた。	3
				69			
				85			
				-			
学校は、子どもたちの運動遊びや体力作りを後押しする支援ができている。	児①：昨年度と比べて朝や休み時間など、体を動かして遊んでいるとする児童の割合を70%以上に する。	教(6)：子どもたちの運動遊びや体力づくりを後押しする支援ができた と答える教員の割合を70%以上 にする。	A	毎週水曜日の朝はらんらんタイムとし15分間走を行った。また12月にはマラソン大会を行い、体力づくりをしてきた。3学期は大縄を行う。 時間の確保だけでなく、内容ややり方についても子どもたちの運動量の増加につながるよう工夫する必要がある。	・運動といってもいろいろあるので、子どもたちが楽しんでいけるものにして欲しい。 ・体力テストも課題の一つとしてあげていけるようにして欲しい。	4	
			76				
			-				
			-				
学校は、児童に分かりやすい授業ができている。	児⑦：授業が分かりやすいと感じている児童の割合を80%以上に する。	児⑧：進んで勉強しているとする児童の割合を80%以上に する。	A	日々の授業に対し教材研究し、特に授業の導入に関しては、子どもたちが興味関心を持って取り組めるよう工夫をしてきた。 子どもたち保護者ともに授業が分かりやすいという部分では昨年度を上回った。 自分の言葉で学びを振り返る終末を行った教員の割合は昨年度よりも上回ったが、今後も次の授業につながる振り返りをしていきたい。	・1年生の授業は担任の先生の声の通りが良く生徒に分かり易い説明で、また集中できない子に寄り添った様子を見ることができました。 ・学年によってかなりの差があると思います。特に2年生。とてもにぎやかなクラスですが、先生を目で追い、何を言うか集中して反応もいい。「学校は楽しい!!」を体現しているようで、嬉しくなります。 ・全体的にクラスを回りましたが、学習環境が整っており、先生方の配慮が行き届いていると感じました。 ・先生方の児童に対する前向きな姿が見られ嬉しい限りです。お体慈愛なさってこれからも筑北の子どもたちのご指導よろしくお願ひします。 ・2クラスの授業を導入から終末まで参観させていただき、明るく、親切、丁寧なご指導と学級の活気を感じましたが、導入が切実感、必要感をもって本時に結びつくのか、終末のまとめはこの2クラスとも時間がなく次時に持ち越しました。おしかった。 ・終末部分も大事にして欲しい。 ・今後も先生方の努力を続けて欲しい。	4	
			92				
			-				
			-				
	保10：お子さんは授業が分かりやすいと感じている保護者の割合を70%以上にする。	教(1)：児童のやる気に火をつける導入に心がけた。教(2)：自分の言葉で学びを振り返る終末を行った教員の割合を70%以上にする。	保10：お子さんは授業が分かりやすいと感じている保護者の割合を70%以上にする。	A	保10：お子さんは授業が分かりやすいと感じている保護者の割合を70%以上にする。	保10：お子さんは授業が分かりやすいと感じている保護者の割合を70%以上にする。	保10：お子さんは授業が分かりやすいと感じている保護者の割合を70%以上にする。
				87			
				-			
				-			
	教(1)：児童のやる気に火をつける導入に心がけた。教(2)：自分の言葉で学びを振り返る終末を行った教員の割合を70%以上にする。	教(1)：児童のやる気に火をつける導入に心がけた。教(2)：自分の言葉で学びを振り返る終末を行った教員の割合を70%以上にする。	教(1)：児童のやる気に火をつける導入に心がけた。教(2)：自分の言葉で学びを振り返る終末を行った教員の割合を70%以上にする。	A	教(1)：児童のやる気に火をつける導入に心がけた。教(2)：自分の言葉で学びを振り返る終末を行った教員の割合を70%以上にする。	教(1)：児童のやる気に火をつける導入に心がけた。教(2)：自分の言葉で学びを振り返る終末を行った教員の割合を70%以上にする。	教(1)：児童のやる気に火をつける導入に心がけた。教(2)：自分の言葉で学びを振り返る終末を行った教員の割合を70%以上にする。
				100			
				64			
				100			

だれとでもあいさつを交わし対話する児童	学校は、子どもたちがあいさつしあえる環境を設定している。	児⑤:友だちや先生にあいさつをしている。児⑥:地域の方にあいさつを返していると答える児童の割合を80%以上にする。	A 81 -	挨拶に関しては先生方が積極的に子どもたちに挨拶し、意識的に行ってきた。子どもたち、保護者ともに昨年度の数値より伸びており、できているという意識が持っている。 一方、実際の挨拶の様子では、まだまだ課題があるといえる。 今後も、気持ちの良い挨拶が交わされるようにしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたち学校の外では、地域の人へのあいさつが遠慮がちで、共にご指導を。</li> <li>バス停や通学路でのあいさつはできている子もいればとできていない子もいる。</li> <li>あいさつは1日の始めの基本なので、大切にしたい。</li> <li>実情的に、外にでた時にもあいさつができるように共に指導を。</li> <li>見守り隊なども協力したい。</li> <li>挨拶は家庭でのこともあるので、連携したい。</li> <li>児童クラブで、ただいまを言うことの意義について話合った。子どもたちの気持ちに寄り添った声かけをすることで、子どもたちのただいまの声が聞こえてくるようになった。</li> <li>声かけの工夫や、挨拶を褒めたりしながら伸ばしたい。</li> </ul>	4								
		保3:お子さんは場に応じてきちんと挨拶していると答える保護者の割合を70%以上にする。	A 81 -											
		教(7):あいさつができるように指導することができたかと答える教員の割合を70%以上にする。	A 95 100											
		学校は、地域講師・外部講師等を積極的に活用したり、地域にでかけたりして、他者とつながる学習の場を設定している。	教(8):地域講師・外部講師等を積極的に活用したり、地域にでかけたりして、他者とつながる学習の場を設定できたとする教員の割合を70%以上にする。				A 90 100	今年度、各学年ふるさと学習を積極的に進めている成果として教(8)が昨年度より大幅に向上している。どの学年も積極的に地域講師に来ていただいたり、地域にでかけたりした。 また3校交流(麻績小、生坂小)で同じ学年の子どもたちとつながる時間が持て、良い刺激となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3校交流でお互いに刺激を受けたり、地域にでかけて様々なことを知ったりできる活動がよくできていた。</li> </ul>	4				
			学校は、外国語に親しむ活動を行っている。				児⑩:外国語の時間に、進んで英語を使っているとする児童の割合を80%以上にする。				B 77 -	教(9)は今年追加した項目なので、昨年度比較はできないが、値として低く出ている。主として授業を行っている先生が少ないことも影響しているかもしれない。本校は外国語教育活動特例校になっているので、外国語を使う必要性のある授業展開を外国語専科・支援員、ALTと担任が連携して行っていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語を学ぶことのねらいを大切に楽しく学んでいけるようにしたい。</li> <li>イングリッシュキャンプに参加した子どもたちはとても楽しく行っている。もっとたくさんの子どもたちに参加をしていって欲しい。</li> </ul>	3
							教(9):子どもたちが、外国語や外国の文化に親しみ、英語を話す必要性のある授業展開を考えることができたか。				D 38 85			
		学校は、ふるさと学習を探究的な学習にするための支援を行っている。	児記述:自分たちがその年に行ったふるさと学習の内容や分かったことを言ったり書けたりする児童の割合を80%以上にする。				A 87 -	児童アンケートのふるさと学習における記述回答をみても、自分たちがどんな活動してきたか、どんな学習となったかがしっかり書かれていた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携におけるふるさと学習(各学年、年間計画)はとても良いと思うので、今後も継続していただきたい。</li> <li>ふるさと学習をとってもよく進めていただいている。</li> </ul>	4				
			教(10):ふるさと学習を探究的な学習にするための支援を行えたとする教員の割合を70%以上にする。				B 67 100							
			学校は、子どもたちが他者や地域に発信する場を設定している。				教(12):他者や地域に発信する場を設定できたとする教員の割合を70%以上にする。				A 70 100	それぞれ学年で活動の見通しを持って活動できていた。発信の場については今後もどんなことができそうか考えていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合学習の発表会は、クラス内だけでなく全校でぜひやって欲しい。「失敗しました」の発表でもいい。「なぜ、どうして」を考える総合になればいいと思います。</li> <li>全校での発表の機会があるとよい。</li> <li>小学校が保育園と関わりながらなど広がりがあるとよい。</li> </ul>	4
	学校は、子どもたちの自尊感情を高める支援を行っている。	児⑩:学校が楽しい児⑪:自分のよさ児⑫:貢献度児⑬:夢や目標の項目で児童の肯定的回答の割合を80%以上にする。	B 78 -	学校に行くのが楽しいとする子どもたちの割合が昨年度より増加した。また、自尊感情を高める支援ができたとする教員の割合は100%となった。 来年度も縦割り活動など取り入れながら、子どもたちが自分の良さに気づいて行かれるよう支援をしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>金管は細かい音を揃えるのに苦心していましたが、打楽器が安定していました。コロナ禍を過ぎ、練習もかなりできましたね。</li> <li>金管バンドは全員が楽器に触れられる環境にあり、演奏も素晴らしかったです。</li> <li>金管バンドコンサートとても良かったです。短い時間の中たくさん練習したんでしようね。先生方と児童の姿に感動しました。</li> <li>先生方に更なる研修を積んでいただきたい。</li> <li>自分のことを堂々と行える子どもたちに育って欲しい。</li> </ul>	4								
			教(13):子どもたちの自尊感情を高める支援ができたとする教員の割合を70%以上にする。				A 100 100							